

2023年度 神戸ベルエベル美容専門学校  
トータルビューティ科ビューティアドバイザーコース カリキュラム

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業	
必修科目	メイク	メイク理論	55	0	55	○
		化粧品知識	0	99	99	○
		パーソナルカラー	0	48	48	×
		接客販売心理学	34	0	34	×
		トータルメイク	519	298	817	○
		百貨店講習	0	6	6	×
		カウンセリング	0	58	58	×
		就職	81	11	92	×
	計	689	520	1209	-	
	実践	特別授業	5	4	9	×
		サロン	2	292	294	×
	※コース 選択 (エステ)	エステ理論	46	59	105	×
		フェイシャル	56	0	56	×
		ボディ	60	36	96	×
		脱毛	0	3	3	×
		サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-	
	※コース 選択 (ネイル)	ネイル理論	16	6	22	×
		ケアカラー	112	0	112	×
		ジェル	34	92	126	×
		サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-	
	選択 課目	HR	240	230	470	×
		マナー	60	10	70	×
		研修	30	0	30	×
	合計		1188	1194	2382	

※コース選択はエステ・ネイルのどちらかを選択。

基本情報			
講義名	メイク(メイク理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	55	0	55

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	化粧品についての知識、皮膚の構造、メイクアップデザインやスキンケア理論の授業を実技授業との連動性を持たせより実践的に行い、検定取得対策も実施する。 技術力の向上、就職後の接客技術、カウンセリング技術にも応用できる授業を行う。
授業の到達目標	メイク技術及び接客技術の実践で活かせる、化粧品・メイク理論・皮膚、骨格・色に関する正確な知識及びメイクアップデザイン理論を学び習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ブランドヒストリー～ スキンケアコンセプト	3	ブランドビジョン、歴史、ブランド哲学、ツール、皮膚の構造、筋肉、骨格、化粧品の定義分類 スキンケアコンセプト、実技について
ポイント・ベースメイク・ クレンジング	3	リップ、アイシャドウ、オイル塗布、拭き取り
スキンケア	1	ローショントーンング、クリームトーンング
メイクアップコンセプト アンダーベース	1	テクニックについて(ベース、ポイントメイク) 手技、手順、注意点説明、テクニックの展示
ファンデーションパウダー	1	手技、手順、注意点説明
ハイ・ローライト	1	ノーズシャドウ、アイシャドウ、ハイライト
ポイントメイクアップ	1	リップ、アイシャドウ、アイライン、アイラッシュ、チーク 手技、手順、注意点説明
メイクアップテクニック	2	ハードフォーミュラー
メイクアップデザイン	28	メイクアップデザインの3要素、色の三属性、トーン、カラーベース、配色 テクニック、要素(質感)、コーディネート、フェイスカウンセリング パーソナルメイクアップコーディネート、確認テスト デザインシート記入、作成(キュート、エレガント、クール、フレッシュ)
トレンド	6	最新のトレンドの調査、発表
応用メイク	1	ハロウィンメイク
検定対策	7	検定筆記対策

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(化粧品知識)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	99	99

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	化粧品に関する成分・効果・使用方法やアレルギーに関する知識や歴史等基礎的な知識を熟知するだけでなく、授業の中でその知識を接客で活かせるカウンセリング技術に応用するまでが授業内容となっている。日本化粧品検定の対策も行う。
授業の到達目標	化粧品の知識、販売方法アレルギーへの対応、カウンセリングに関する知識をメイクアップ技術、カウンセリング技術に応用できるレベルへの到達を目標とする。 また、取得資格として日本化粧品検定合格を目指し、合格レベルへの到達を目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
商品知識	22	スキンケア化粧品、メイクアップ化粧品の商品知識 確認テスト
フレグランス	6	・フレグランスの歴史、種類、特徴、香り立ちの違い
アンチエイジング	6	・アンチエイジングメイクのカウンセリング、アドバイス
アレルギー対応	6	・アレルギー対応の一般例
日本化粧品検定対策	59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本化粧品検定についての説明</li> <li>・クレンジングの基本、洗顔の基本</li> <li>・化粧水の基礎知識、美容液</li> <li>・勘違いしがちな肌悩みの対処法、お手入れの基本手順</li> <li>・日焼け止めの基本</li> <li>・メイクアップの基本、ボディ・ヘアケアの基本</li> <li>・ボディケアの基本を学ぶ、ヘアケアの基本</li> <li>・皮膚の構造、皮膚の仕組みと働き</li> <li>・表皮の構造としくみ、基底膜について、真皮のしくみ、皮膚の機能</li> <li>・肌タイプと見分け方、季節と肌</li> <li>・肌悩みとお手入れ(乾燥、ニキビ、毛穴、シミ、くすみ、くま、しわ、たるみ)</li> <li>・メイクの基本テクニック(ベース、ポイントメイク)</li> <li>・肌を劣化させる様々な外的要因、内的要因</li> <li>・紫外線が肌に与える影響</li> <li>・検定対策</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(パーソナルカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	48	48

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクアップにおいて重要な色に関する知識を学ぶ。似合う色の根拠を把握し、目的に応じた色の演出効果を理解することで、お客様一人一人の似合う色の提案をできるような技術を当該授業にて身に付ける。検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	メイクの技術や接客において重要な色の知識を学ぶことにより一人一人に似合う色が分かるようになること、その知識をメイクにおけるカウンセリング技術に応用できるレベルになることを目標とする。 また、検定合格レベルの到達も目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
基礎学科①	12	パーソナルカラーとは何か:板書、解説 色が見える光の条件:板書、解説 色が見える物体の条件:板書、解説 色が見える視覚の条件:板書、解説 色の基礎知識 色の三属性:板書、解説 PCCS表色系について トーン表の作成 色の基礎知識 清色と濁色:板書、解説 色の属性の見極めレッスン
実技基礎	12	パーソナルカラー分析の考え方 色の属性が肌に与える影響:板書 ドレーピングとは(解説) ドレーピングのやり方(デモ) カラー診断の実習 フォーシーズン見本帳の作成 フォーシーズンの色の解説 フォーシーズンの特徴の解説 フォーシーズンのヘアメイクカラー
基礎学科②	3	色彩調和論(人名、説の解説と板書、ライン引き) 基本の配色方法:色相配色 基本の配色方法:トーン配色
実技	3	色相、トーン配色の演習 配色技法の演習
復習	6	復習プリント実施(問題の解答と解説)
模擬試験	12	模擬試験、過去問題 模擬試験、過去問題答え合わせ・解説 総まとめ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(接客販売心理学)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	34	0	34

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	接客心理検定3級・準2級取得に向け、顧客心理を知り、卒業後にすぐに役に立つ販売知識を学ぶ
授業の到達目標	接客心理検定取得

具体的内容		
項目	時間数	内容
オリエンテーション	1	授業の意義目的、授業を受けるにあたっての約束
接客心理とは	1	講師による接客デモンストレーション、接客心理の内容説明、接客心理検定について
ロールプレイング	1	ボディランゲージ、挨拶・笑顔・言葉使い等の説明
コミュニケーション テクニック	6	お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析 グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析、グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) 実例からの心理状況分析、グループワーク
情報とコミュニケーション の区分	4	メール、SNS等の非対面コミュニケーションと対面コミュニケーションの情報伝達量、伝達度の違いの理解 接客が最高級スキルであることの証し、満足度と感動を与えることの理解 談話能力・社会言語能力の理解度、コミュニケーションを戦略的に使う接客方法 グループワーク(ロジカルな文章、イメージ文章、グローバル文章とパーソナル文章の作成)
筆記	2	知識の確認
商品属性の研修	6	商品属性の必要性・商品属性名と属性値、トレンド便乗の手法の理解 グループワーク(トレンド商品、属性値、イメージ分析) グループ発表 属性値が創造されるメカニズム、クレームに含まれる属性値と商品改善 お客様の認知とバイアス(歪み)の理解 グループワーク (売れ筋のイメージの絞り込み、類似商品の属性値、新しい属性値創造キャッチコピー作成) 誤解、錯覚、思い込み、バーナム効果
練習問題	1	練習問題を解く(知識の確認)
ブランドを立ち上げる	1	グループワーク(コラージュ作成・修正)
トータル	11	実技試験シュミレーション、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(トータルメイク)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	519	298	817

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	メイクに関する一連の技術(スキンケア、クレンジング、メイクアップ)を学ぶ。一般的な基礎技術はもちろんのこと、世代別のメイク、TPOに合わせたメイク技術、舞台メイク等を学ぶ機会を与え、メイクに対する興味を深めそのことにより技術の幅を広げる授業を実施する。 検定の検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	スキンケア、クレンジング、ベース～ポイントメイクの習得や、お客様一人一人にあったメイク、それぞれのシーンにあったメイクの提案をしそれを具現化できるところまで完結できる、より実践的な技術レベルへの到達を目標とする。 また、検定の取得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
セッティング 技術者としての 身だしなみ	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の名前シール貼り(シールを用意させ、貼らせる)</li> <li>・技術者としての心得を理解、意識付け</li> <li>・姿勢、身だしなみについて ・セッティング説明、並べてみる(最終15分以内完成)</li> <li>・相モデルにてセッティングシケープをかける、ダッカールで髪止める、立ち位置、姿勢</li> <li>・セッティング、姿勢、身だしなみの復習</li> <li>・確認テスト セッティング15分タイム取り</li> </ul>
スキンケアテクニック	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リップクレンジング・アイメイククレンジングのテクニック、レッスン</li> <li>・ベースクレンジングテクニック、ポイント説明、流れ、テクニックレッスン</li> <li>・オイルの乳化、拭き取りテクニック、レッスン</li> <li>・ベースクレンジング、乳化、拭き取りレッスン</li> <li>・ローショントナーニングテクニックのレッスン</li> <li>・クリームトナーニング、ティッシュオフテクニックレッスン</li> <li>・ポイントクレンジング～ティッシュオフ</li> <li>・確認テスト(ポイントクレンジング～ティッシュオフ)</li> <li>・アンダーベース～フェイスパウダーレッスン</li> <li>・ノーズシャドーのフィンガーワーク、手順</li> <li>・ハイライトのフィンガーワーク、手順</li> <li>・アンダーベース～ハイライトレッスン</li> <li>・確認テスト(ポイントクレンジング～ハイライト)</li> </ul>
メイクアップテクニック	46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リップブラシ、アイシャドー(持ち方、手順、テクニックの説明、レッスン)</li> <li>・アイラインペンシル(持ち方、手順、テクニックの説明、レッスン)</li> <li>・アイラッシュカーラー(使い方、持ち方、マスカラの塗り方、テクニック、レッスン)</li> <li>・アイブロウ(ハードフォーミュラーの削り方、テクニック説明、レッスン)</li> <li>・チークメイクアップ(入れる場所の理解、ブラシの持ち方、描き方、レッスン)</li> <li>・チーク、相モデルレッスン</li> <li>・リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、マスカラ、チーク(相モデル)</li> <li>・確認テスト</li> <li>・クレンジング～スキンケア、ベース～フルメイク相モデルレッスン</li> </ul>
リタッチ	2	・リタッチテクニック、レッスン
メイクアップデザイン ・カラー	8	・ポイントメイクアップ配色実習
メイクアップデザイン ・シェイプ	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸の要素テクニック、ポイントメイク(リップ、アイメイク、アイブロウ、チーク)</li> <li>・三角の要素テクニック、ポイントメイク(リップ、アイメイク、アイブロウ、チーク)</li> <li>・四角の要素テクニック、ポイントメイク(リップ、アイメイク、アイブロウ、チーク)</li> </ul>
カラーカウンセリング メイクアップ	16	・モデルの肌色からカラーベースを判断しカラーを決定。手順、テクニック、モデルレッスン 確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
検定対策	38	・モデルの肌色からカラーベースを判断しレッスン (スキんケア、カラーカウンセリング、カラーカウンセリングメイクアップテクニック)
フェイスカウンセリング	10	・顔の凹凸の理解、効果ていきなハイ・ローライトの入れ方、レッスン ・理想のプロポーション、アイエリアのバランスについて
トレンド①	14	・現在のトレンド、レッスン
応用メイク①	6	・模写メイクについて、レッスン
シーズンメイク	45	・「スプリング」「サマー」「オータム」「ウインター」説明、レッスン、デザインシート作成 ・確認テスト(モデルに合わせて1シーズン選択。フルメイク)
就活メイク	16	・就職活動メイク特徴説明、一般的な就活メイク練習 ・メイクブランド、スキんケア、崩れにくいベース作り、自分にメイクする
トレンド②	25	・ブランドの理解、特徴、商品理解を深める ・ブランドのコレクションメイク(スキんケアからフルメイク)レッスン
検定内容①	73	・「キュート」「エレガント」「フレッシュ」「クール」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 ベースメイクの説明、レッスン ・確認テスト(イメージ一つ選択)
外国人風メイク	51	・外国人風メイク「欧米」「アジア」「中東」説明、レッスン ・確認(イメージ一つ選択)
応用メイク②	19	・パーティメイク、フラギーメイク説明、デモ、レッスン ・作品作成
メイク応用	43	・クレンジングオイル、化粧水、乳液の説明、必要性、プレゼン、説明と実践 ・カウンセリングメイク実践(カウンセリングシート記入を行いそれに基づいてメイク) ・ワントーンメイクについて、レッスン
時代別メイク	33	・時代別メイク(大正)時代背景説明、デモ ・相モデル練習 ・確認テスト
トレンド③	26	・「春、夏」「現在」のトレンドメイク説明・デモ 相モデルレッスン(スキんケア、フルメイク)
世代別メイク	25	・「30・40代」「50.60代」メイク ベースメイクの説明、相モデル実習・確認、チェック、修正
ブランドの人気アイテムの理解・使用	8	・ブランドの人気アイテムの特徴、使用方法、レッスン ・確認、チェック修正
舞台メイク	85	・キャッツメイク特徴説明、レッスン、応用デザイン ・宝塚メイク特徴説明(女役・男役)、レッスン アイブロウ・アイシャドウ・アイライン・アイラッシュリップ・チーク ベース・アイシャドウ・アイブロウアイライン・アイラッシュ・リップ・チーク ・ドラッグクイーン特徴説明、レッスン ・確認テスト
ブランドメイク	30	・ブランドメイクの特徴、デモンストレーション ・レッスン(化粧水～フルメイク)
外国人風メイク	12	・外国人風メイクにおける説明、デモンストレーション、レッスン
年代別メイク	76	・1990年代メイク(コンサバメイク)・1980年代メイク(バブルメイク) ・1960年代メイク(ツイギー)・1950年代メイク(オードリー、マリリンモンロー)特徴説明 ・相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク ・確認テスト
メンズメイク	5	・メンズメイクの特徴、デモンストレーション、モデルレッスン
模写メイク	13	・模写メイク説明、モデルレッスン(化粧水～フルメイク 確認、チェック、修正)
TPOに合わせたメイク	8	・ビジネスシーンにおけるメイクの特徴、デモンストレーション、モデルレッスン
カウンセリングメイク	6	・カウンセリングメイクの特徴、デモンストレーション ・モデルレッスン(化粧水～フルメイク)
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	百貨店講習	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	6	6

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	現場の接客・販売の体験
授業の到達目標	現場の接客・販売の体験によるスキル向上

具体的内容		
項目	時間数	内容
百貨店講習	6	現場の接客・販売体験

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。



基本情報			
講義名	メイク(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	58	58

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイク技術だけでなく、お客様が何を求められているかをヒアリングする力を養う。
授業の到達目標	カウンセリング知識の習得

具体的内容		
項目	時間	内容
説明・体験	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングの目的、基本理解、カウンセリングシート内容</li> <li>・カウンセリングの注意点、手順</li> <li>・カウンセリングシートの内容説明</li> <li>・相モデルで実践</li> </ul>
聞き取り	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の悩み、希望、理想を聞き取る。</li> <li>・相モデルで実践</li> </ul>
提案	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の悩みや希望に合ったスキンケアとメイクを提案。</li> <li>・相モデルで実践</li> </ul>
クロージング	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチアップ終了後のクロージング、お客様が購入しやすいように導く</li> <li>・相モデルで実践</li> </ul>
復習	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の流れを再確認</li> </ul>
シミュレーション	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン実習を想定し相モデルで実践</li> <li>・カウンセリングシートを使用し、聞き取り～クロージングまでの実践</li> </ul>
スキンケア知識	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛穴のメカニズムを知る</li> </ul>
聞き取り～クロージング	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取り～クロージングまでの実践</li> </ul>
リンクセールス	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドデモの必要性と方法</li> <li>・ベースメイクに必要なアイテムを知る</li> <li>・ポイントメイクに必要なアイテムを知る</li> <li>・サロン実習の想定</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	81	11	92

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界について	1	・美容業界の仕事・職種について、体験談
就職活動の流れ	1	・就職活動のスケジュール
インターンシップ・アルバイト	1	・参加の意義、準備
キャリアプランニング①	2	・キャリアプランニングとは、キャリアプランニングシート
自己分析	2	・自己分析とは、シート作成、人前で話す練習
企業研究①	2	・企業研究とは、志望動機とは
インターンシップ	1	・エントリーシートの書き方
情報収集	1	・SNSと就職活動
就活サイト	2	・説明、登録
応募書類①	1	・必要書類、履歴書の書き方
面接試験①筆記試験①	2	・面接試験、筆記試験を知る、SPI対策
キャリアプランニング②	1	・キャリアプランニングシート作成
求人の見方	3	・情報収集の仕方、用語
企業研究②	5	・業界企業の特徴、志望動機作成等
応募書類②	10	・添え状、封筒、履歴書
面接対策①	18	・集団面接、模擬面接
証明写真	2	・証明写真について
キャリアプランニング③	1	・キャリアプランニングシート作成
応募書類③	8	・履歴書作成
面接対策②	15	・集団面接、模擬面接、弱点強化
企業研究③	2	・志望動機作成
面接対策③	8	・集団面接、模擬面接、弱点強化
キャリアプランニング④	2	・キャリアプランニングシート作成、フォローアップ
卒業前教育	1	・社会人としての意識

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(特別授業)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	5	4	9

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	SNSブランディング・OBOGセミナー・校内ガイダンス
授業の到達目標	SNSの正しい使い方の理解・業界で活躍する卒業生の話聞き、美容業界で働くことのイメージ・企業説明会、就職活動のイメージができるようになる。

具体的内容		
項目	時間数	内容
SNSブランディング	2	SNSの効果的な使い方、正しい使い方
OBOGセミナー	4	業界で活躍する卒業生
校内ガイダンス	3	興味のあるサロンの方々のお話を聞く

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	2	292	294

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	自コースのサロン実習の授業を行う。 必修科目で学ぶメイク技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン説明	4	サロン実習内容説明
サロン基礎	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン概要説明</li> <li>・オープンからクローズまでの1日の流れの理解</li> <li>・身だしなみ、挨拶、接客用語、立ち居振る舞い</li> <li>・売上目標、入客目標、店販売上の理解</li> <li>・受付表、伝票などの書類の書き方</li> <li>・レジの使用方法</li> <li>・カウンセリングシート、メニュー内容、時間、金額の理解</li> <li>・お出迎え、お見送りの仕方・電話の出方(ロールプレイングの実施) ・PC入力方法</li> </ul>
カウンセリング基礎	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の状況に合わせた提案の仕方・理論に基づいた提案の仕方</li> <li>・効果的な来店ペースの促し方</li> <li>・効果的なホームケアアドバイス</li> <li>・ロールプレイング ～来店→技術→退店～</li> <li>・ロールプレイング ～商品販売の仕方～</li> </ul>
サロンシミュレーション	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上目標、入客目標、店販うりあげの把握・受付表、伝票</li> <li>・復習</li> </ul>
実習確認	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起こりうる事態の予想と対策</li> <li>・仕事内容の理解、役割</li> </ul>
カウンセリング応用	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様のニーズ別の販売の仕方 ・ビフォーアフターカウンセリング ・ロールプレイング</li> </ul>
サロン技術強化	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の不安点、弱点強化</li> </ul>
接客応用	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自問題を解く</li> <li>・グループで自身の回答の発表をし合いグループで1つの回答を作る</li> <li>・クレーム対応マニュアル解説</li> </ul>
交流授業	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン実習シミュレーション</li> </ul>
接客テスト	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客テスト</li> </ul>
サロン実習	172	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力</li> <li>・振り返り、レポート作成等</li> </ul>
プレサロン	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人や他学年をお客様としサロン実習の実施</li> </ul>
プレサロン改善会議	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定</li> </ul>
復習	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン復習</li> </ul>
サロン改善会議	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(エステ理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	46	59	105

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステティックに必要な基礎的な知識・理論を学ぶ。エステの歴史や皮膚科学、栄養学、化粧品学、救急法、カウンセリング技術、サロンマネジメント等を学び技術や接客において実践的に活かせる知識を得られる授業を実施する。
授業の到達目標	エステティックの知識・理論を理解し、それをエステ技術や接客、サロンマネジメントにまで活かせるレベルに到達することを目標とする。 また、取得資格合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
概要	1	説明、検定の概要
エステティック概論の理解	2	エステティックとは、セラピーの起源と定義 各国のエステティック
セルフケア ホームケア	1	セルフケア・ホームケアについて(ボディ編、フェイシャル編)
ボディ実技理論	4	ボディケアの組み立て、ボディケアの基礎
フェイシャル実技理論	4	フェイシャルケアの組み立て、基本テクニック
皮膚科学	12	皮膚の構造、皮膚の生理機能美しい肌のために 肌の老化とケア、トラブル肌と皮膚疾患
解剖生理学	18	人体のあらまし、細胞・組織・器官、免疫、骨格系、筋系の解説 神経系、感覚器系、消化器系、呼吸器系 循環器系、血液、内分泌系、泌尿器系、生殖器系
心身生理学	4	脳のこと、ホメオスタシス、免疫 ストレス、心と肥満の関り、スキントッチの効果
運動生理学	4	運動の必要性、筋肉・呼吸器・循環器と運動 代謝と運動、運動処方、運動の実際
化粧品学	6	化粧品の定義と役割基礎化粧品 メイクアップ化粧品 ボディケア化粧品 芳香化粧品 化粧品の原料
栄養学	7	栄養学の基礎知識、健康と栄養、食品パワーの新しい可能性とその利用
エステティック カウンセリング	4	エステティックカウンセリングの基本 カウンセリングの実際
サロン マネジメント	4	エステティック業の役割 サロン繁栄のための顧客管理、サロンマネジメント
エステティック 電気学・機器学	4	エステティック機器、電気学の原理 生体と電気の関係
エステティック 関連法規	6	エステティシヤンの仕事と法律、契約 エステティック業界の自主基準
サロンでの救急法 サロンでの衛生・消毒	8	救急法の基礎知識 主な症状の手当と事故・けがの手当 公衆衛生 病原微生物 感染症
美容脱毛学	4	美容脱毛概論、毛髪学概論、毛の成長因子と美容脱毛 美容脱毛における衛生管理、カウンセリング、ワックス脱毛実技
検定対策	12	これまでの復習、模擬試験

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(フェイシャル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	56	0	56

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	フェイシャルエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なフェイシャルエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
・ポイントクレンジング ・スポンジ ・ホットタオル	14	・クレンジングの手技 ・ポイントクレンジング、クレンジングの注意点、手順、レッスン ・スポンジ、ホットタオルの取り扱い注意点・手順・レッスン ・クレンジングふき取り ・確認テスト
・ポイントクレンジング ・クレンジング ・フェイシャルトリートメント ・拭き取り ・整肌	16	・クレンジング復習 ・6種類の基本手技を理解と手順 軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、圧迫、振動法、デコルテの注意点・デモ・レッスン・チェック ・クレンジングのふき取りチェック ・整肌の方法デモ・レッスン・チェック
フェイシャル カウンセリング	3	・肌質・体質判断 カウンセリングの注意点、手順、相モデル
パック	4	・パックの理解と手順 パック粧材の説明 パック塗布の注意点・手順・デモ・レッスン・仕上がりチェック パックふき取り注意点・手順・デモ・レッスン・ふき取りチェック 確認テスト
フェイシャルトリートメント パック	3	・確認テスト
・ポイントクレンジング ・クレンジング ・フェイシャルトリートメント ・パック ・カウンセリング ・拭き取り ・整肌	8	・流れを理解 カウンセリングシートの記入 ポイントクレンジング～拭き取りまでのタイム取り クレンジングの拭き取りチェック パックのタイム取り パックの仕上がり、拭き取りチェック 整肌のチェック
検定対策・模擬試験	8	・手順の復習 ・手技の最終チェック ・模擬試験(本番同様の流れ)

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(ボディ)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	60	36	96

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ボディに対するエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なボディエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
教材確認	3	・教材チェック・名前記入、エステ着・ナースシューズ試着
基礎	3	・エステの仕事の紹介 ・ベッド・ワゴンセッティングの説明 ・タオルの畳み方、ホットタオルの作り方
下肢後面 トリートメント	15	・手技の理解と手順を覚える ドレーピングの注意点・デモ・レッスン・チェック・ボディケアの基本 下肢後面トリートメントの注意点、デモ、レッスン、チェック ホットタオル拭取りの注意点・デモ・レッスン・チェック、確認テスト
腰背部・肩・上腕 トリートメント	8	・手技の理解と手順を覚える ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 腰背部・肩・上腕注意点・デモ・レッスン、確認テスト
下肢前面 トリートメント	8	・手技の理解と手順を覚える ・下肢前面の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、確認テスト
上肢・腹部 トリートメント	8	・手技の理解と手順を覚える ・上腕・腹部の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、確認テスト
ボディ カウンセリング①	2	・肌質・体質判断、アドバイスを行う(カウンセリングの注意点、手順、相モデル)
全身トリートメント	6	・手順の復習(下肢後面→腰背部・肩→下肢前面→上腕→腹部のトリートメント) ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、チェック
ボディ カウンセリング②	3	・肌質・体質判断、アドバイスを行う(カウンセリングの注意点、手順、相モデル)
模擬試験	4	・本番同様の流れ
ボディアロマ 全身トリートメント	36	・アロマトリートメントの効果・手技の理解と手順 ・トータル技術の流れ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(脱毛)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	3	3

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステティックにおける脱毛技術、知識を脱毛学から手技の技術習得、機器の正しい使用方法等の授業内容から学ぶ。
授業の到達目標	エステティックにおいて重要な、脱毛の知識の理解、ワックス脱毛・光脱毛技術の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
美容脱毛	3	美容脱毛学、美容脱毛学実技理論、ワックス脱毛のデモ 例題集実施、解答・解説、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。



基本情報			
講義名	コース選択エステ(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	40	40

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択エステのサロン実習の授業を行う。コース選択エステで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン基礎、カウンセリング基礎、技術強化、シミュレーション、応用
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ネイル理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	16	6	22

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なネイルの知識(歴史、爪の構造、手のマッサージ、色彩理論、ネイル技術)、使用する用具用材、機器の正しい使い方を学ぶ。 また、資格取得の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関する基礎的な知識、ジェルネイルの基礎知識、使用機器の正しい使い方等について理解することを目標とする。 資格試験に合格するレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ネイル理論	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルの歴史・爪の構造と働き</li> <li>・皮膚・生理解剖</li> <li>・マッサージ理論・ツボ理解</li> <li>・病気・消毒</li> <li>・化粧品学・色彩理論</li> <li>・技術体系・ケア手順</li> <li>・復習(確認テスト)</li> </ul>
ジェル	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルネイル概論、用具用材、技術体系、ジェルネイルの衛生管理</li> <li>・ジェルネイル材料の基礎理論</li> <li>・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止</li> <li>・復習、確認テスト</li> </ul>
検定対策	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習、確認テスト</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ケアカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	112	0	112

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして基本的な技術であるケアカラーについて学ぶ。用具の種類や使用方法、消毒法から爪の形を作るファイリング、爪のケア技術、ポリッシュの塗布技術を相モデル等にて実践的に学ぶことができる。検定の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関するケアについての技術の習得と理論の理解、ポリッシュ塗布技術習得と理解、検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
セッティング・検定概要	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セッティング(ラベルシール・名前シール)</li> <li>・道具確認</li> <li>・検定概要(手順)</li> </ul>
ファイリング	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドの仕込み方</li> <li>・ファイリング・シャイナー(爪の形と種類、ファイルの違い、手指消毒、ラウンドのストローク)</li> <li>・爪の形の削り方(オーバル・ポイント)</li> </ul>
ハンドトリートメント	1	・ハンドトリートメント手順 ツボ理解
プッシャー	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用方法、持ち方、支え方、動かしか方</li> <li>・手指消毒～ファイリング～プッシャーの流れ</li> </ul>
ニッパー	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用方法、持ち方、支え方、ガーゼの巻き方、動かしか方</li> <li>・手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ実践</li> </ul>
赤ポリッシュ	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用方法、持ち方、刷毛の状態、塗る手順</li> <li>・指の支え方、スキндаウン、修正、オフ、モデルレッスン</li> <li>・確認テスト、弱点教化</li> </ul>
アート	7	・使用方法、筆の動かしか方、モデルレッスン
ケアカラートータル復習 検定対策	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア復習(手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ)</li> <li>・フィードバック、弱点強化</li> <li>・筆記・過去問題、模擬試験</li> <li>・相モデル、確認テスト</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ジェル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	34	92	126

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なジェルネイルの技術・理論について学ぶ。ジェルネイル技能検定の初級の対策も行い、用具用材・機器の使用方法から基礎知識技術から学び、モデルに応じたバランスまで考えられるような技術者になれるよう授業を行う。
授業の到達目標	ジェルアートの基礎知識の理解・スムーズな除去方法の理解と技術・色々な筆の使い分け・モデルに応じたバランスがとれる技術の習得を目標とする。 資格試験合格レベルに到達することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ジェル初級検定	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セッティング(ラベルシール)</li> <li>・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点・使用方法)</li> <li>・検定概要(手順)</li> <li>・赤ジェル、ジェルアート、トータルレッスン</li> <li>・本番シミュレーション、確認テスト</li> </ul>
カラーリング	5	・ジェルカラーリング、ジェルトレンドアート
グラデーション	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルグラデーション、トップジェルまで通し</li> <li>・確認テスト</li> </ul>
フレンチ	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランス・ライン取り、トップジェルまで通し、弱点教化</li> <li>・確認テスト</li> <li>・フォームのかけ方(種類、切り方、角度、相モデル)</li> </ul>
スカルプチュア	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーエッジ(クリアファイル、ハンド、自爪)</li> <li>・削り・仕上げ</li> <li>・弱点強化、確認テスト</li> </ul>
ジェル中級検定	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順確認、タイムトライアル、弱点教化</li> <li>・本番シミュレーション</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	40	40

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択ネイルのサロン実習の授業を行う。コース選択ネイルで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン基礎、カウンセリング基礎、技術強化、シミュレーション、応用
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	HR	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	合計
	240	230	470

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒間のコミュニケーション向上。</li> <li>・コンプライアンスや一般常識、社会の危険知識を身に付ける。</li> <li>・イベントを通して美容の面白さや、多くの人との関わり合い・協調性を身に付ける。</li> </ul>
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生生活での一般常識や守らなければならないこと、チームで力を合わせ取り組む姿勢、社会に出てからの一般常識や危険性の知識習得を目標とする。</li> </ul>

具体的内容		
項目	時間数	内容
リーダー任命式・セミナー	12	・生徒間コミュニケーション向上、学校ルール
ベルコレ	24	・作品の製作、技術訓練、発表
防災対策	18	・消防署からのアドバイス、訓練、災害種別による避難
防犯対策	22	・犯罪被害予防、不審者、不審物、スニーカー被害
薬物乱用	12	・薬物の危険及び影響、薬物や有機溶剤及び医薬品の乱用
社会貢献	43	・地域活動、地域行事参加
マナー	16	・言葉遣い、服装、電話対応、来客対応
仕事・組織	12	・チームでの仕事、仕事の進め方
職場生活	12	・整理整頓、勤務態度行動
社内外トラブル	12	・起こりうるトラブル
個別弱点強化	216	・個々の苦手科目強化及び指導
進路相談	22	・希望就職先、職種類
特別講習	20	・卒業生やサロン 企業従事者による講義
ハラスメント	18	・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、具体例、防止、復習
コミュニケーション	11	・社会人・組織のコミュニケーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	合計
	60	10	70

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	サービス接客検定合格。 卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	4	サービススタッフに求められる資質
専門知識	4	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用語、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	4	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	4	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	3	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	3	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	5	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション
主体性 I	3	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
実行力 I	3	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
課題発見力 I	3	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
ストレスコントロール力 I	3	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	選択(研修)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	合計
	30	0	30

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	普段とは異なる環境の中で、グローバルなセンスや最先端の技術に触れさせ、生徒一人ひとりへの刺激となる研修を行う。
授業の到達目標	学校外での研修において、学内では触れることのできない貴重な経験をさせ、刺激を与え生徒の夢へのモチベーション向上、技術向上を目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
研修	30	外部の特別講師による講義、デモンストレーションや技術実習の実施

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。